



白鳳点描

明るい笑顔が輝く教室を「ありがとう!」

校長 川本 幸則

校庭の木々の緑が美しい季節となりました。つばきなどの常緑樹木の濃い緑に加え、桜、樺あるいはもみじの新緑の明るい緑の若葉に彩られています。花壇のパンジーやビオラなどは、今が盛りに咲き誇っていますが、春先に咲いていたチューリップは花を落としています。

先日、お休みされた担任に代わって1年生の授業をしました。

授業のはじめはどうやっているのかと尋ねたところ、口々に「あいさつ」と返ってきました。すでに授業の流れができていることをうれしく思いました。

そして、あいさつの後、はじめに、「私は誰でしょう」と子どもたちに尋ねました。すぐに「校長先生」との声があり、安心しました。入学式での出会い、朝の校門でのあいさつ、廊下でのすれ違いなど、1年生の子どもたちと顔を合わせる機会が少なかったのですが、私のことを知っていました。「ありがとう」と思いました。

そして、黒板に「〇〇が〇〇」と書いて、「今日は、ここにどんな言葉が入るか考えてもらいます」と伝えました。

ここまでは、私の考えていたシナリオ通りですが、ここからがうれしい誤算でした。

子どもたちに、〇に入る言葉をいろいろと考えさせる中で、「一番大切にしてほしい言葉」であることを伝えてから、「ありがとう」について考えていくシナリオでした。しかし、子どもたちは、すぐに「ありがとう」と口々に言い始めました。入学式で「私が一番大切にしてほしいあいさつは、「ありがとう」です。たくさん「ありがとう」が言えるようになってほしいと思います。」と伝えていたことを忘れずにしてくれた子どもがいました。また、忘れていた子も思い出してくれたようでした。

私は、子どもたちの素直でまっすぐな様子を見て、とてもうれしく思いました。もう、すっかり白鳳小学校の1年生として立派に成長していると感じました。

また、登校の様子を見ていると、6年生をはじめとした高学年が、集団をしっかりとまとめ、1年生に配慮するとともに、安全に気を付けながら登校している様子がみられます。高学年として頑張っている姿からも、子どもたちの成長を感じます。

子どもたちの成長を感じることはとてもうれしいことです。そして、その感動を子どもたちに伝えることで、子どもたちの励みとなり、さらに成長する好循環になります。

「伝えること」は、大人として意識していきたいことです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応が大きく変わってきます。これまで、社会全体で様々な規制を設けて、感染拡大を防いできましたが、これからは、個人の対応が主となってきます。報道でも様々な情報を得ることができそうですが、学校といたしましては、法に基づいた尾張旭市教育委員会からの通知などに従って対応していきます。御家庭にも御協力を仰ぎながら、子どもたちの健康や安全を守り、楽しく笑顔のあふれる学校を目指していきます。どうぞよろしくお祈りします。